



運動部の市内大会が一斉に始まりました。野球は幡豆中を会場に強豪の平坂中と戦いました。1回表、アウトにすべきところをアウトにできず、不運も重なって、いきなり4点を取られました。ここで崩れてしまわないのが本校野球部の強さです。

チャンスが2回裏の攻撃でやってきました。立て続けの5連打。1年生もホームラン性の当たりを出しました。ここで一気に6点を入れ、2点差をつけて逆転。

3回表、本校の投手は西尾市内でも評判の投手ですが、その投手から相手チームの主砲がホームランを打ちました。これで6対5。1点差。

その裏、振り逃げパスボールで、何とか1点をもぎ取り、7対5と2点差にしました。取られたら取り返す。面白い展開です。



しかし、です。4回表、相手校はノーアウトでヒットを出した後、フォアボールなどもあり、なんと4点をもぎ取り、7対9。2点差を付けられて逆転されました。ただ、本来ならもっと入れられそうになる展開を、レフトがタッチアップする選手をまるでイチローのようなコントロールでホームに投げ、

アウトにしたために、なんとか4点でおさまりました。

時間的にはこの回が最終。点数を入れなければ負けです。2点入れれば延長。3点以上なら東中の勝ちという場面。

力強い円陣の後、東中の攻撃が始まります。最初のバッターが打撃妨害で出塁。そのバッターは前の回で足を負傷しており、走るのも不自由な状態です。痛みを我慢して出ている感じがしました。次のバッターは、何としても塁に出ようとフェールを打ちまくり、フォアボールに。ノーアウト1、2塁。そして、ここで絶妙のバントが出ます。びっくりするくらいキレイに3塁線にころころ転がる白球。慌てたピッチャーは、ボールを拾うことに精一杯で、こぼしてしまい、ノーアウト満塁に。そして、パスボールがあり、1点が入りました。ほしいのはあと2点。

ノーアウト、2、3塁。本校自慢の強打者。フルカウントの末、ピッチャーが投げたボールを見事にフルスイングでレフトを越える2ベースに。一気に2点が入り、サヨナラ勝ちとなりました。昨年の3位決定試合に続いてのサヨナラ勝ち。感動をありがとう。

